取扱説明書

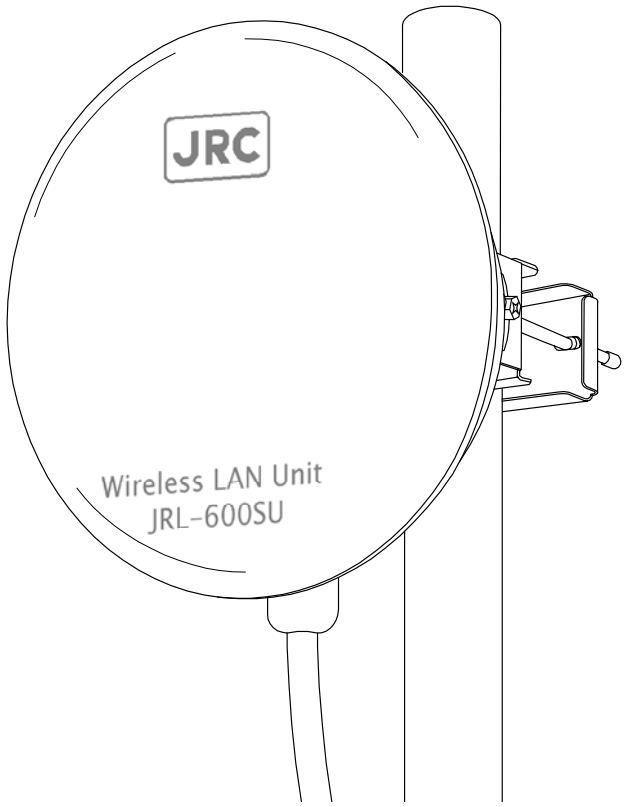
このたびは本製品をお買い上げいただき，ありがとうございます。

本製品を正しく理解し，ご使用いただくために，
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は，いつでも見られるところに保存してください。

JRC 日本無線株式會社

アンテナー体型無線LAN装置

JRL－600SU



もくじ

１．製品の特徴・・・・・・・・・・・・１ページ
２．必ずお読みください・・・・・・・・２ページ
３．お使いになるときのお願い・・・・・２ページ
４．機器構成および各部の名称と働き・・５ページ
５．屋外ユニットの設置・・・・・・・・６ページ
６．屋内ユニットの設置・・・・・・・・９ページ
７．故障と思う前に・・・・・・・・・１０ページ
８．アフターサービス・・・・・・・・１０ページ
９．廃棄について・・・・・・・・・・１０ページ
１０．仕様・・・・・・・・・・・・・・１１ページ
１１．外観・寸法図・・・・・・・・・・１１ページ

1．製品の特徴

●屋外ユニットはアンテナを内蔵しているため，ケーブル損失による通信距離の低下がありません。また，外付けアンテナが不要なため設置工事も簡単です。

●屋外ユニットと屋内ユニット間は屋外用 Ethernet ケーブル１本で接続可能です。

●国際標準規格であるIEEE802.11bに準拠した無線通信方式を採用しています。データ伝送速度は最大11Mbpsと有線LANにひけをとらない高速なデータ伝送が可能です。

●世界標準 LAN の IEEE802.3(Ethernet)にそのまま接続可能です。本装置を LAN インターフェースのあるパソコンに直接接続して使用することも可能です。

●本機と端末装置(パソコン，ワークステーション)を Ethernet ケーブルでつなぎ電源を入れるだけなので，どなたにでも簡単に使用できます。もちろん，面倒なソフトウェアのインストール作業もありません。

●端末(パソコン，ワークステーション)のメーカや機種にとらわれずに接続できます。また，接続に際してソフトウェアのインストール作業が不要であり，端末の OS 等が変更になってもそのままご使用いただけます。

●小電力データ通信システムに基づく技術適合証明を取得済みなので，どなたでも免許なしに使用できます。

2. 必ずお読みください

●本装置は一般民生用です。生命維持装置その他極めて高い信頼性が要求される用途を前提としていません。本装置をこれらの用途に使用する場合は当社へご相談ください。

●本装置は 2.4GHz 帯の電波を用いて通信します。電波はその性質上雑音や混信によって通信に障害を受ける可能性があります。本装置を利用してシステムを構築する場合は通信障害の存在を考慮してください。

●この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品の底面に貼り付けてあるシールはその証明シールですのではがさないでください。

●製品を分解して改造することは法律により禁止されています。また，不法に改造を加えてご使用になると，法律により罰せられることがあります。

この機器の使用周波数帯では，電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線 LAN 局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に，近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一，この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には，速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上，本製品をお求めになった販売店・工事店，または当社の営業所にご連絡いただき，混信回避のための処置等(例えば，パーティションの設置など)についてご相談してください。

3. その他，この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは，本製品をお求めになった販売店・工事店，または当社の営業所までお問い合わせください。

本書中のマークの説明

⚠ 警告	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の右側に危険・警告・注意の種別（この図の場合は警告）が記載されています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	これらの記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	これらの記号は，行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

3. お使いになるときのお願い

⚠ 警告　安全にお使いいただくために必ずお守りください

	本装置を分解・改造しないでください。不法改造により電波法で罰せられるほか，火災・感電・故障の原因となります。
	設置工事は技術と経験が必要ですので，お買いあげの販売店もしくは工事店にご依頼ください。お客様による設置工事は火災・感電・けが・故障の原因になることがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	付属のＡＣアダプタは本装置専用です。指定外の機器に使用しないでください。また，本装置に付属のＡＣアダプタ以外の電源を接続することはおやめください。火災・感電・故障の原因となります。
	ＡＣアダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
	濡れた手で屋内ユニットやＡＣアダプタに触れないでください。感電や故障の原因となります。
	電源プラグの刃，および刃の取り付け面に埃が付着している場合はよく拭いてください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	雷が激しいときは，本装置や本装置に接続されたケーブル類に触れないでください。感電の原因となります。
	突風や積雪，大きな地震の後は屋外ユニットの取り付け状態に緩みや異常を生じることがあります。そのまま使用すると破損・落下してけがや故障の原因となることがあります。点検をお買い上げの販売店や工事店にご依頼ください。
	万一，煙が出ている，へんな臭いがする，異常に熱いなどの異常に気がついたときは，直ちにＡＣアダプタをコンセントから抜き，他の機器との配線をはずした上でお買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	屋内ユニットの内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入らないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
	屋内ユニットとＡＣアダプタは水，油，薬品等がかかる恐れのある場所や，湿気，湯気，ほこり，油煙等の多い場所に置いたり使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	お客様による内部の点検・修理は絶対に行なわないでください。専門点検員以外による点検・修理は火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は当社またはお買い求めの販売店・工事店にご依頼ください。

⚠ 注意　安全にお使いいただくために必ずお守りください

	屋外ユニットの表面にシールを貼ったり塗装したりしないでください。太陽光で熱せられ，変形や故障の原因となるほか，アンテナの性能が低下し，通信できなくなるおそれがあります。
	屋外ユニットや取付金具，ケーブル類に洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり，破損したりしてけがの原因となることがあります。
	本機を移動させる場合は必ずＡＣアダプタをコンセントから抜き，外部機器との接続ケーブルをはずしてから行ってください。コードが傷つき故障の原因となることがあります。
	屋内ユニットやＡＣアダプタの上に重いものをのせないでください。故障の原因となることがあります。
	本装置を長時間使用しない場合は，安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
	ＡＣアダプタをコンセントから抜くときはＡＣアダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷ついて，火災・感電・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意　安全にお使いいただくために必ずお守りください

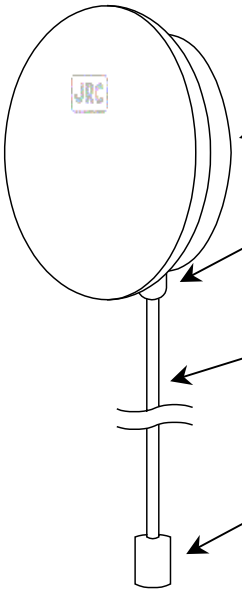
	屋内ユニットの「ＯＤＵ」端子には屋外ユニット以外の機器を接続しないでください。故障の原因となることがあります。
	屋内ユニットやＡＣアダプタは屋内で使用・保管し，屋外や直射日光の当たる場所での使用・保管はさけてください。故障の原因となることがあります。
	極端に低温，高温の場所や，温度変化の激しい場所，衝撃や振動の激しい場所での使用および保管をしないでください。故障の原因となることがあります。 特に次のような環境でのご使用，保管はさけてください。 ・火気のある場所 ・暖房，冷房器具のそば ・振動，衝撃の加わる場所 ・腐食性ガスの発生する場所
	屋内ユニットやＡＣアダプタをぐらついた台の上や，傾いている場所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして，けが・故障の原因となることがあります。
	冷却状態のセットを高温の場所にいきなり置かないでください。セット内部が結露して故障の原因となることがあります。
	テレビやラジオなど電磁波を発生するような機器の近くで使用しないでください。正常な動作に悪影響を及ぼす原因となることがあります。
	お手入れの際は，安全のため必ずＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・故障の原因となることがあります。
	外装を清掃する場合は，乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合には布に水か中性洗剤を含ませた後に，かたく絞ってから，汚れた部分を軽く拭いてください。 ベンジンやシンナー等の揮発性有機溶剤や，薬品，化学ぞうきん，殺虫剤を使うと，変形・変色・故障の原因となることがあります。
	本機に関する故障障害や保守点検等のお問い合わせまたはご相談は，お買い上げの販売店または工事店までお願いいたします。

＜販売店・工事店様の安全上のご注意＞・・・お客様もお読みください

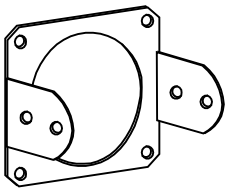
⚠ 警告　安全確保のために必ずお守りください

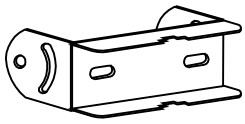
	屋外ユニットは送配電線，ネオンサイン，電車の架線，電話線などの近くに設置しないでください。倒れた場合，火災，感電，断線，故障の原因となります
	屋外ユニットは煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災，感電，故障の原因となります。
	車両，船舶，航空機など振動・衝撃が加わる場所へ設置しないでください。落下してけがの原因となることがあります。
	不安定な場所，ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落下したり，倒れたり，すべったりするなどけがの原因となります。
	高所や足場の悪い場所や電線の近くなどでの設置作業は安全に十分配慮してください。けがや感電の原因となります。
	風の強い日や雨，雪，雷などの天候が悪い日は危険ですから設置工事や点検・お手入れをしないでください。落ちたり，倒れたりしてけがの原因となります。
	屋外ユニットを設置する場合は，装置の重みや風などで落下しないよう堅固に取り付けてください。落下してけがの原因となることがあります。
	屋外ユニットを運搬するときは，ケーブルを持たずに本体を持ってください。ケーブルが外れて本体が落下し，けがの原因となるほか，ケーブルにストレスが加わり故障の原因となることがあります。

4. 機器構成および各部の名称と働き

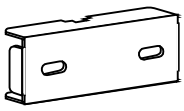


<u>屋外ユニット</u>
　無線ＬＡＮ装置とアンテナを防雨筐体に内蔵しています。本体正面（ロゴがある面）を通信相手のアンテナに向けて使用します。


台座


仰角金具

方位角固定
コ形ボルト


ポール押え金具

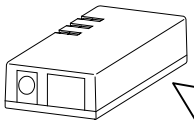
コ形ボルト用キャップ（２個）

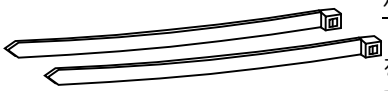
ボルト（８本）
台座および仰角固定用

ナット，バネ座金，平座金（各２個）
方位角固定用

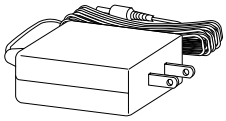
<u>据付金具</u>（接地端子を兼ねています）
　屋外ユニット本体に取り付けます。垂直または水平の円柱ポール（直径 20mm～60mm）に据え付け可能です。方位角と仰角の調整が可能です。

<u>屋内ユニット</u>
　屋内に設置し，屋外ユニットに対して電源を供給する役目をします。また，無線ＬＡＮのリンク状態を表示します。

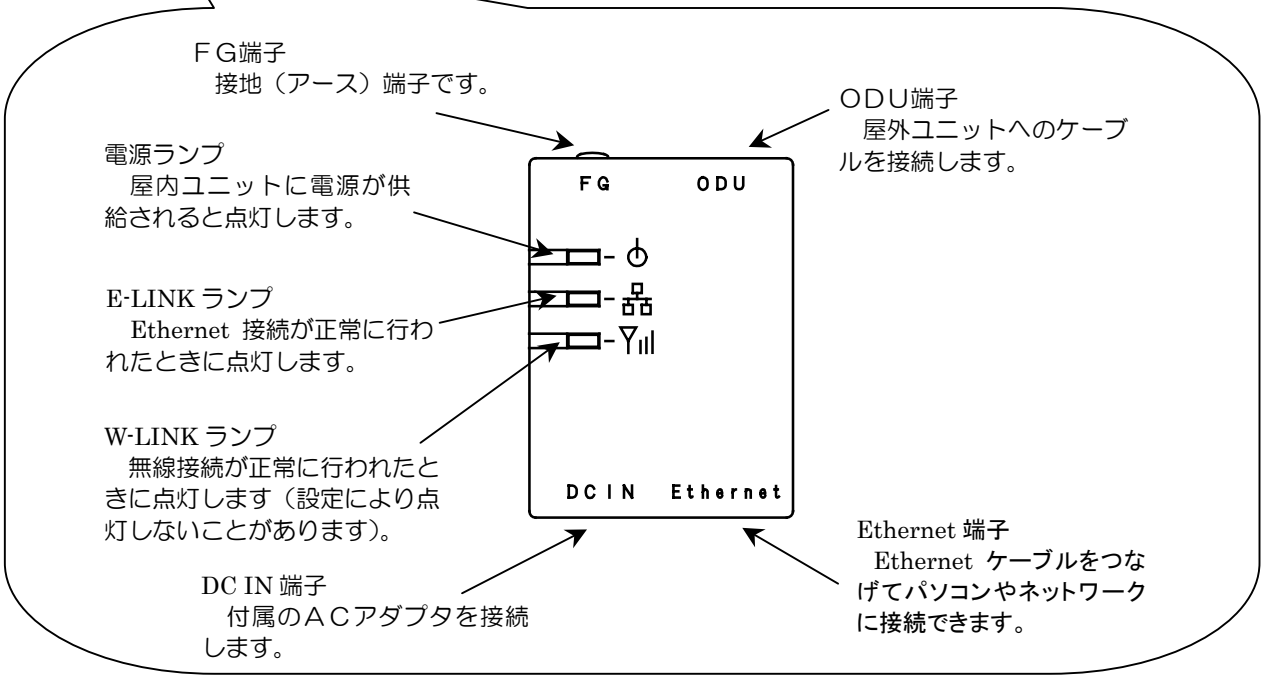




<u>ケーブル固定具（２本）</u>
　屋外ユニットの接続コネクタ部をポールに固定するときに使います。



<u>ＡＣアダプタ</u>
　本装置に電源を供給します。屋内ユニットに接続します。



●設置工事を行うにはこれらの他に次のものが必要です（詳しくは後述）。製品には同梱されていませんので，作業をされる方がご用意ください。
　・屋外用ＬＡＮケーブル　・ＲＪ４５モジュラープラグ（２個）　・自己融着テープ　・ビニールテープ

5. 屋外ユニットの設置

(1)設置場所について

●屋外ユニットは屋外への設置が可能です。本機の据え付け金具でテレビアンテナポールや衛星放送用パラボラアンテナのポールなど，直径 20mm～60mm の垂直または水平の円柱状ポールにそのまま設置できます。その他の場所に設置する場合は，市販の衛星放送用パラボラアンテナ取付金具などを使用してください。

●屋外ユニットは，経年変化や強風などにより緩みが生じないよう，強固に設置してください。

●屋外ユニットを設置する場合のポイントは以下の通りです。

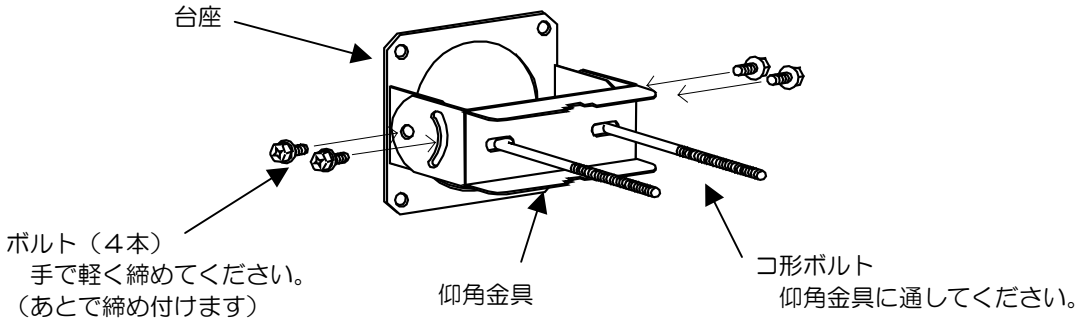
①通信する相手（アクセスポイントなど）の通信エリア内であること 通信エリアは通信相手のアンテナや環境によって異なります。設置の前に確認してください。
②通信する相手のアンテナが十分見通せること 電波の伝搬経路に建物や樹木など障害物があると，通信を遮られることがあります。 設置時に見通せても，将来建物の建築や樹木の成長などにより通信が遮られる場合も考えられますので注意してください。
③通信相手に向かって屋外ユニット（本機）の正面を向けられること 屋外ユニットを垂直ポールに設置した場合，本装置の設置方向は上下方向に水平からそれぞれ 30 度ずつ，水平方向は全方向に調節が可能です。 水平ポールに設置した場合は，上下方向に水平からそれぞれ 30 度ずつ，水平方向もポールに直角な方向から左右に 30 度ずつ調節が可能です。
④屋外ユニットの正面近くに金属やコンクリートなどアンテナの性能に影響するものがないこと 屋外ユニット正面にはアンテナが内蔵されています。アンテナに金属やコンクリートを近づけるとアンテナの性能が低下して通信できなくなることがあります。
⑤着雪に注意 降雪地域では，本装置に着雪しないよう軒下などに設置してください。本装置に着雪すると，アンテナの性能が低下して通信できなくなることがあります。また，雪の重みで取り付け状態に緩みが生じることがあります。
⑥強い妨害の発生する装置に隣接していないこと 妨害電波を発生すると思われるものには，以下のものがあります。 ・2.4GHz 帯の電波を使った電子レンジや産業用医療用機器 ・2.4GHz 帯アマチュア無線機 ・2.4GHz 帯移動体識別装置(盗難防止器，入退室監視システムなど) ・本装置以外の 2.4GHz 帯無線 LAN 装置 これらの装置からは十分に離して設置してください。必要な距離は機器の種類や仕様によって異なります。電子レンジの場合は３m以上離してください。

これらの条件を十分に満足できない場合，通信速度が低下したり，通信が全くできなくなることがあります。正常な通信ができるかどうか心配な場合は，まず仮設置を行ない，通信試験を行なった上で正式な設置場所を決めてください。

(2)据え付け金具の組み立て

●屋外ユニットを屋外に設置するための据え付け金具を下の絵のように組み立ててください。

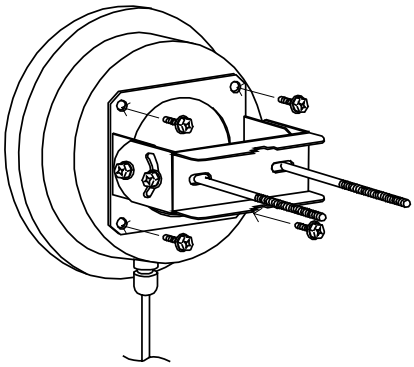
●指などを挟んでけがをしないよう，注意してください。



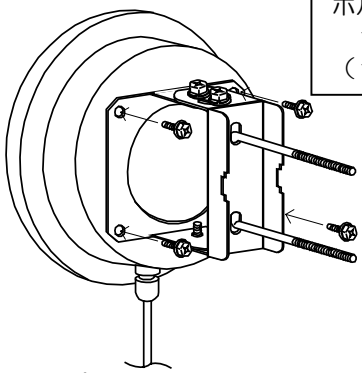
(2)金具の取り付け

●据え付け金具を本体に取り付けてください。屋外ユニットを設置するポールが水平か垂直かで取り付ける金具の向きが違います。付属の金具固定用ボルト４本でしっかりと固定してください。

ボルト締め付けトルク
１２７N・ｃｍ　±１０%
（１３ｋｇｆ・ｃｍ）



垂直ポールに設置する場合



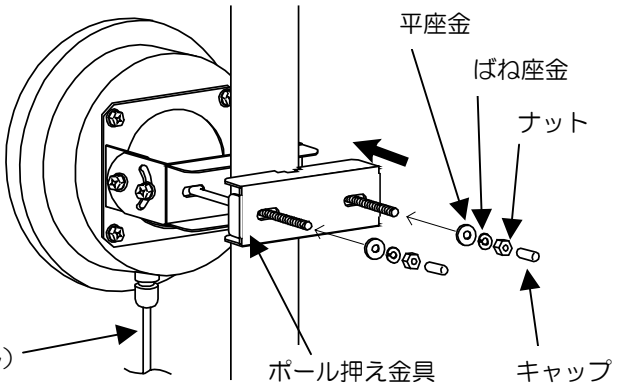
水平ポールに設置する場合

(3)ポールへの取り付け

●直径 20mm～60mm の垂直または水平の円柱状ポールに取り付け可能です。

●ポール押え金具でポールをはさんで，平座金とばね座金を入れてからナットを左右均等にかるく締め，仮止めしてください。さらに，コ型ボルトにキャップをかぶせてください。
（図は垂直ポールに設置した場合です）

●接続ケーブルが下向きに出ていることを確認してください。

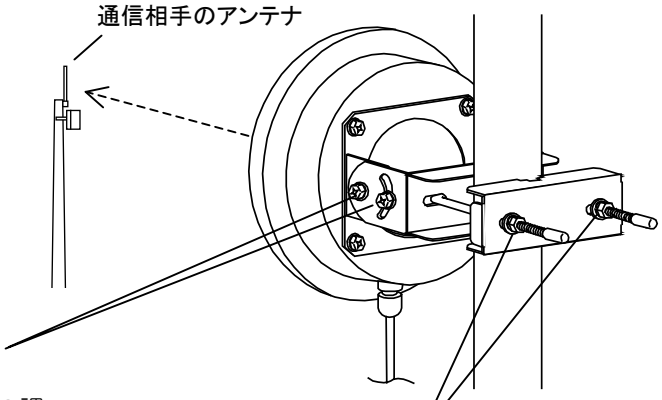


(4)方向調整

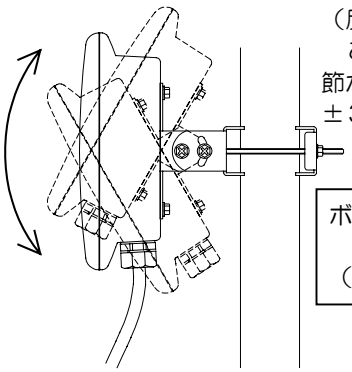
●本体正面を通信相手のアンテナに向けてください。

●通信相手のアンテナが遠い場合は，設置後に動作させ，確実に通信できるよう方向の微調節を行ってください。

●方向を調節した後は各ナット，ボルトを確実に締めつけてください。

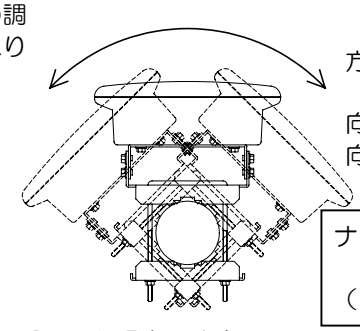


仰角固定ボルト
（反対側にも２カ所あります）
　これらを緩めると上下方向の調節が可能です。調節範囲は水平より±３０°です。



ボルト締め付けトルク
１２７N・ｃｍ　±１０%
（１３ｋｇｆ・ｃｍ）

方位角固定ナット
　これらを緩めると水平方向の調節が可能です。全方向に調節できます。



ナット締め付けトルク
２６５N・ｃｍ　±１０%
（２７ｋｇｆ・ｃｍ）

（図は垂直ポールに設置した場合です。）

［お願い］
　屋外ユニットを水平ポールに取り付ける場合は，仰角（上下）は水平より±３０°以内としてください。
　それ以外の角度に設置すると内部に水が入ったりして故障の原因となるほか，アンテナの偏波面が傾いて通信可能な距離が短くなることがあります。

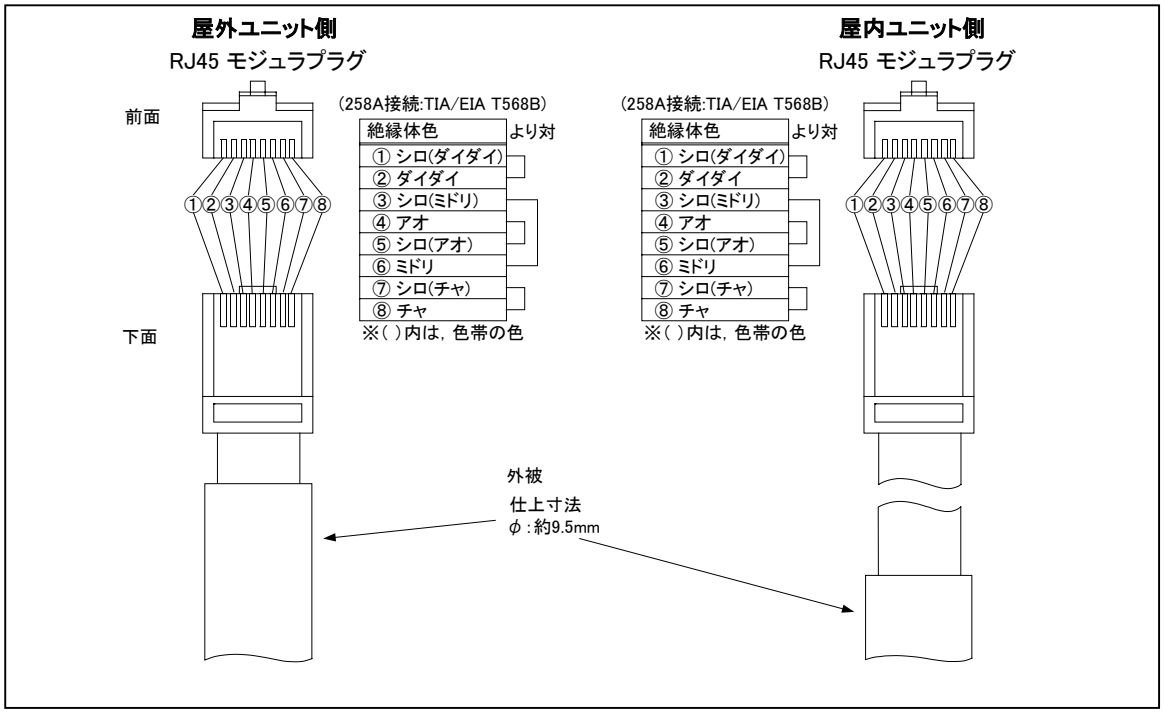
(5)配線方法

●屋外配線ケーブルは屋外用のＬＡＮ用ツイストペアケーブル(カテゴリ５)を使用します。次の２種類のいずれかの使用を推奨します。**屋外ユニット～屋内ユニット間の配線長は５０m以下としてください。**

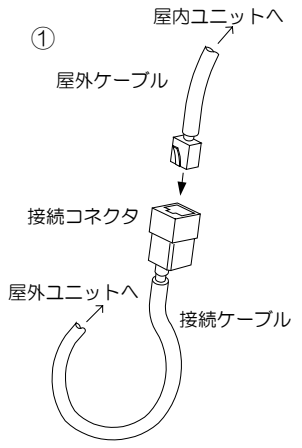
	製造者	形名
①	富士電線（株）	ＴＰＣＣ　５－ＬＡＰ
②	オーナンバ（株）	ＯＹＳ－ＬＡＮ－４Ｐ

各ケーブルの仕様についてはケーブル製造者またはその販売店にお問い合わせください。

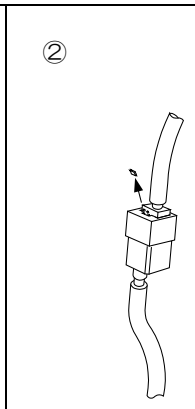
●屋外ケーブルにコネクタ（RJ45 モジュラープラグ８ピン）を接続（ストレート結線）してください。結線方法は下図を参考にしてください。



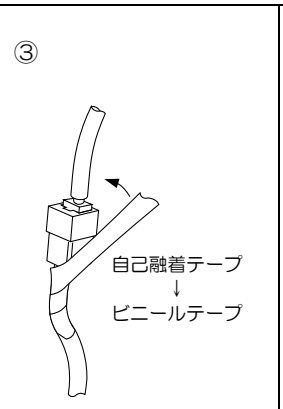
●屋外ユニットと屋外ケーブルを接続してください。



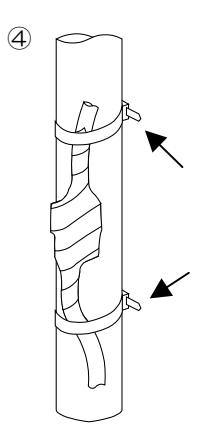
屋外ユニットの接続コネクタに屋外ケーブルプラグを「カチッ」と音がするまで差し込み，接続してください。



脱落防止のため，はみ出したモジュラープラグの爪をニッパ等で切り取ってください。



コネクタ部分に自己融着テープを巻き，その上にビニールテープを巻いて防水処理を施してください。



ケーブル固定具でポールに固定してください。
※締め付けの強さはケーブルがつぶれない程度にしてください。

●本装置を雷や静電気から保護するため，接地を行ってください。屋外ユニットの取付金具がＦＧ（接地）端子を兼ねていますので，取付金具またはこれに接触している金属物（取付ポール）を接地してください。

6. 屋内ユニットの設置と接続

⚠ 注意
室内ユニットは室内に設置し，水に濡れたり直射日光に当たったりしないようにご使用ください。また，ケーブルを引っ張ったり，重い物をのせるなど強い力を加えないでください。火災・故障の原因となります。
屋内ユニットの「ＯＤＵ」端子には屋外ユニット以外の機器を接続しないでください。故障の原因となることがあります。

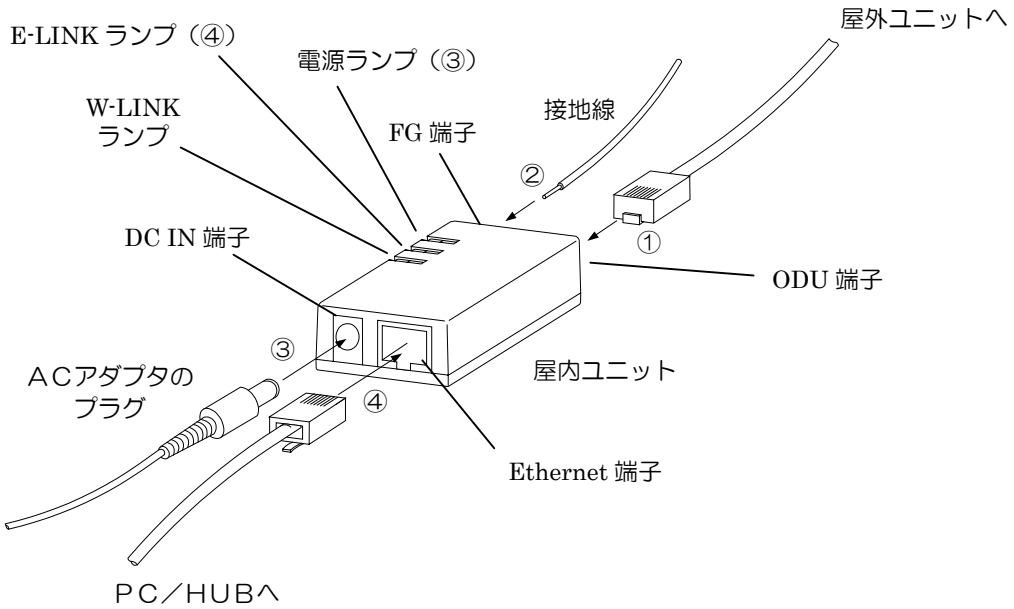
●以下の手順で屋内ユニットの設置を行ってください。

① 屋外ユニットに接続されているケーブルのプラグを屋内ユニットの「ODU」端子に「カチッ」と音がするまで差し込み，つないでください。

② 本装置や接続された機器をを雷や静電気から保護するため，接地を行ってください。屋内ユニットのＦＧ（接地）端子を接地してください。

③ 付属の AC アダプタの DC プラグを屋内ユニットの「DC IN」端子に接続してから，AC アダプタを AC100V コンセントに差し込んでください。（電源ランプが点灯します）

④ パソコンまたは HUB と「Ethernet」端子をイーサネットケーブル(カテゴリ５)で接続してください。（正しく接続され，パソコンまたはＨＵＢが動作していれば E-LINK ランプが点灯します）



[参考]
コンピュータおよび有線 LAN との接続に使用できるケーブルの種別は次の通りです。
・コンピュータとの接続・・・ストレートケーブル
・HUB との接続・・・・・・ストレートケーブル／クロスケーブルともに可
（正しく接続されるように HUB の接続や設定を変えてください。
詳しくはご使用になる HUB の取扱説明書をご覧ください。）
本機とコンピュータまたは有線 LAN が正しく接続されると屋内ユニットの E-LINK ランプが点灯します。

[お願い]

- 屋外ユニットからコンピュータ／ＨＵＢまでの配線長は合計 100m 以下としてください。
- 付属の AC アダプタ以外のものは接続しないでください。
- 本装置を使用するためには無線ＬＡＮおよびパソコンの設定が必要です。設定について，わからない場合はお買い求めの販売店・工事店へご相談ください。
- HUB を介してネットワークに接続する場合は，必ず本装置の設定を完了してからにしてください。適切な設定をせずにネットワークに接続すると，通信できないなどのトラブルを生じることがあります。

7. 故障と思う前に

無線 LAN 装置をご使用になり，下表のような症状が認められた場合は，故障と思われる前に以下のことをご確認ください。

症状	原因	対策
電源ランプが点灯しない	DC コネクタが外れている	DC コネクタを正しく接続する
	AC アダプタがコンセントに接続されていない	AC アダプタを正しく接続する
	標準品以外の AC アダプタを使用している	標準品を接続する
E-LINK ランプが点灯しない	Ethernet ケーブルが外れている	Ethernet ケーブルを正しく接続する
	ストレートケーブルを使用すべきなのにクロスケーブルを使用している，またはその逆	正しいケーブルを使用する
	屋内ユニットのＯＤＵ端子と Ethernet 端子の接続が逆になっている	正しく接続しなおしてください
	パソコンの電源が入っていない	パソコンを起動する
W-LINK ランプが点灯しない	無線 LAN の設定が合っていない	無線 LAN の設定を確認する
	親局設定になっている	親局設定の場合，W-LINK ランプは点灯しない
	無線 LAN 間の距離が遠い	通信可能な範囲に移動する
	アンテナ間の見通しが確保できていない	障害物を取り除くかアンテナを移動して見通しを確保する
	アンテナの方向が合っていない	屋外ユニットの向きを調節する
通信しない	無線 LAN またはパソコンの設定が合っていない	無線 LAN またはパソコンの設定を確認する
	無線区間以外に障害がある	有線回線で動作確認する
通信速度が遅い	有線側のトラフィックが多い	適切な機器（スイッチング HUB やルータなど）を導入してトラフィックを軽減させる
	遮へい物がある	遮へい物を取り除く 無線 LAN を移動させる
	妨害波がある	妨害波から遠ざける

・無線ＬＡＮまたはパソコンの設定について，わからない場合はお買い求めの販売店・工事店へご相談ください。
・以上を確認しても正常に動作しない場合は，お買い求めの販売店・工事店または当社の営業部へご相談ください。

8. アフターサービス

●修理サービスや保守・点検についてのご相談は，お買い求めの販売店・工事店または当社の営業部にご依頼ください。

●この製品には製品保証書が付属しています。お買い求めの販売店で「販売店名・販売年月日」等を記入してお渡ししますので，ご確認の上，内容をよくお読みのあと，大切に保管してください。保証期間は，お買いあげ日より 1 年間です。

●修理を依頼されるときは，保証期間中は，お買い求めの販売店または当社の営業部にお申し付けください。保証書の記載内容により無償で修理いたします。保証期間が過ぎているときは，お買い求めの販売店または当社の営業部にご相談ください。修理により使用できる場合は，お客様のご要望により有償修理いたします。

●アフターサービスについてご不明の場合や，修理サービスや保守・点検についてのご相談は，お買い求めの販売店または当社の営業部にご依頼ください。

[ご注意]

●この装置は容易にあけられない構造になっています。むやみに分解するとけがや感電，故障の原因となることがあります。また電波法に抵触する恐れがありますので，絶対に分解しないでください。
●分解されますと修理をお引き受けできなくなることがあります。

9. 廃棄について

●本装置を廃棄するときは，地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは，当社の代理店または営業所にお問い合わせください。

[備考]本装置は電池を使用していません。

10. 仕様 （製品の仕様は予告なく変更することがあります）

屋外ユニット(NTF-600)

周波数	2400～2483.5MHz および 2471～2497MHz
送信出力	2mW/MHz
変調方式	直接拡散(Direct Sequence SS)方式
伝送速度	11/5.5/2/1 Mbps
インターフェース	無線部 IEEE802.11b，有線部 IEEE802.3 (10BASE-T)
アクセス制御方式	CSMA/CA
伝達距離	相手局仕様や環境による(本機対向では屋外見通しにて約 2km)
アンテナ	内蔵，垂直偏波，利得 9dBi 以下，3dB ビーム幅 70 度(水平面)／60 度(垂直面)
電源	屋内ユニットから 10BASE-T ケーブルにより供給
動作環境	温度：－30～＋50℃　湿度：20～80%RH 耐風速：40m/s(動作)／90m/s(非破壊・取付ポール径φ50mm 以上のとき)
適合ポール径	φ20～60mm(付属の取付金具使用時)
外形寸法	φ176×D60mm (金具・突起部含まず)
質量	約 500g (金具含まず)

屋内ユニット(NQD-4600)

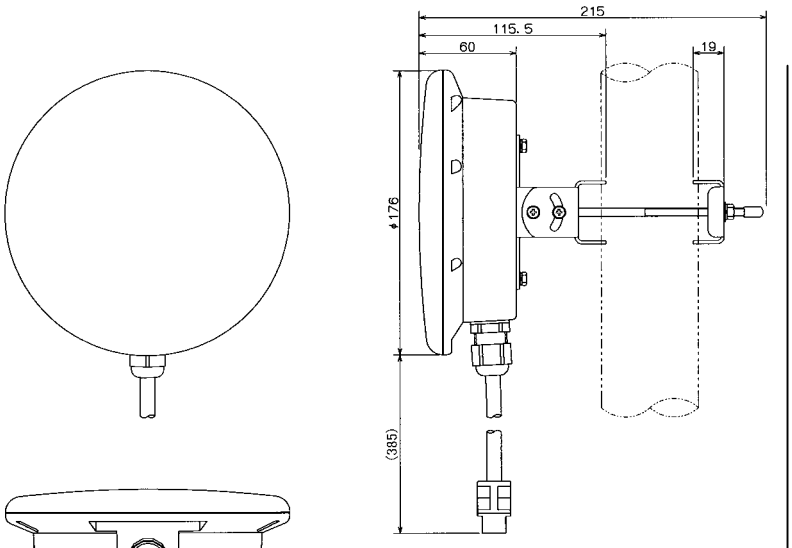
インターフェース	IEEE802.3 準拠(10BASE-T)
電源	24V，付属 AC アダプタから供給
動作環境	温度：-10～＋50℃　湿度：20～80%RH
外形寸法	H22×W44×D60mm (突起部含まず)
質量	約 50g

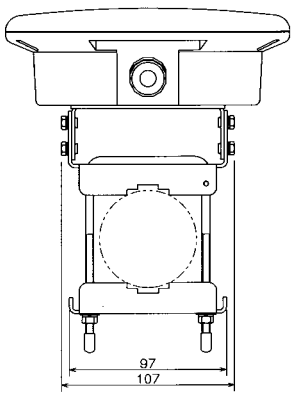
AC アダプタ

入力	単相 AC90～132V 50/60Hz 25VA
出力	24V 0.5A
外形寸法	H54×W48×D26mm （ケーブル・突起部含まず）
質量	約 150g

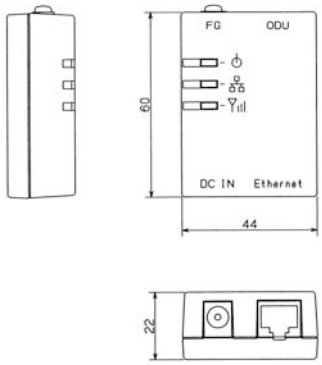
11. 外観・寸法図 （製品の外観・寸法は予告なく変更することがあります）

（単位：mm）





屋外ユニット



屋内ユニット

JRC 日本無線株式會社
http://www.jrc.co.jp/
(無断複製・転載を禁ずる)

第 2.2 版　2003 年 4 月
編　者　日本無線株式会社
発行者　日本無線株式会社
〒107-8432 東京都新宿区西新宿 6-10-1　日土地西新宿ビル
通信機器営業部　ネットワークグループ
TEL：03-3348-3857　FAX：03-3348-3935

記載されている会社名及び商品名は，それぞれ各社の商標及び登録商標です。

修理・メンテナンスなどアフターサービスのご用命はこちらへ